
恋人ごっこ

澤田リナ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋人ごっこ

【Nコード】

N3820E

【作者名】

澤田リナ

【あらすじ】

【恋人ごっこ】でしかあなたの側にいられない。いくら好きでも【ごっこ】を超えるのはルール違反。そこでゲーム終了。

プロローグ1【出会い】（前書き）

これは完全なリアルな話です。

プロローグ1【出会い】

恋人ごっこ。

しょせん

「ごっこ」なの。だからあなたはリアルを生きてる。

私だけずっと抜け出せないよ…

「ただいま。」

当たり前扉を開けて私が言うつ、悠は不機嫌そうに、

「ああ…てゆうかお前帰るの遅くない?!」と言いながら私を睨む。

「仕方ないじゃん。資料なかなか完成しないんだもん、それより今日ごはん何?」

そう言いながら私はスーツのジャケットをソファに投げる。

「酢豚と唐揚げ…ってまたジャケット投げて!シワになるから投げるなっていつも言ってるだろ!」悠は文句を言いながらジャケットをハンガーにかける。

そうして悠の作ったごはんを食べてお風呂に入って手を繋いで眠る。

それが私の生活。

でも悠は恋人じゃない。もちろん身体の関係も一度もない。だけとおやすみのキスをして悠の腕枕で空いた片手は手を繋いで眠る。そして朝はキスをして仕事に行く。

悠は恋人ごっこでもしてるつもりなのかもしれない。

でもね、でも、私は悔しい程にあなたが大好きなの。

【ごっこ】の私達に束縛は許されない。

それは暗黙のルール。

ルールを破ってバランスが崩れる事を私達は何より恐れているのか
もしれない。

暗黙のルールを表には一切出さず生活する私達。

だけど喧嘩はかなり多い…

帰りが遅いとか飲みに行き過ぎだとか喧嘩は大体くだらない。まあ
大体私がいつも怒られるんだけど…

【出会い】

私と悠が出会ったのは3年前。まだ私がホステスをしていた頃、悠
はたまたま店のコが連れてきた客だった。

「ねえアヤ、ちょっとあいつの席ついてやってくれない？さっきか
らアヤをつけろってうるさいのよ」ハルナが私に両手を合わせて
おねだりする。

「無理！！あたし若い子ってどうも苦手でさ」ハルナのおねだりを
軽くかわす。

「アヤのけちいゝ！！」ハルナが叫んだ。

「うつせえ！仕事しろ仕事」ケラケラと笑いながらハルナを追い返
し、自分はまたマイペースで飲んでいた。

…まもなく閉店時間

客もほとんど帰り、ボックス席に悠とハルナだけになっていた。…

ん？ハルナめっちゃ酔ってる…

（めんどくさいなあ…） 閉店させて早く帰りたい私はボックスに向かった。

「はじめまして、アヤです。かなりハルナ酔ってるねえ。」苦手だろうとポーカーフェイスは崩さない。

「アヤ〜！！悠がアヤに一目惚れみたいよお！！！！キャハハ！」ハルナは完全に出来上がってしまってる…

「うるさい！お前マジ黙れよ！！」悠がハルナに怒鳴る。

（この子もお酒苦手なのねえ…顔真っ赤…） 正直この時

点ではまったく悠に興味なんてなかったしこんなに長い付き合いになるなんて想像もつかなかった。

【再開】

悠との最初の出会いから二週間が過ぎ、悠の存在すら忘れていた頃、ハルナが突然

「ねえ、アヤの番号、悠に教えてもいい？」と言い出した。

「悠？……誰？？」

私はふざけるわけでもなくハルナに聞き返した。

ハルナはハァーとため息をついて答える

「この前あたしが連れて来てた客だよ！あんたマジ覚えてないの？」

「あ、あれね！悠くんね！はいはい覚えてます覚えてます！番号？そりゃいくらでも教えちゃってよ」ハルナのため息に耐えられず調子イイ返事したけど…

（まずい…どんな顔してたっけ…）

私の不安をよそにハルナは早速悠に電話をかけた

「もしもし悠？アヤが番号教えてくれるってさ」それを伝えて電話を切ると、私に悠の番号を登録するように促した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3820e/>

恋人ごっこ

2011年1月7日02時31分発行